

2023年2月9日

各位

株式会社リボミック  
代表者名 代表取締役社長 中村義一  
(コード番号：4591 東証グロース)  
問合せ先 執行役員財務経理部長 米林渉司  
TEL. 03-3440-3745  
日本大学産官学連携知財センター

### リボミックと日本大学との網膜疾患に関する共同研究契約締結のお知らせ

株式会社リボミック（東京都港区、代表取締役社長 中村義一、以下「リボミック」）と日本大学産官学連携知財センター（東京都千代田区、センター長 武井正美、以下「NUBIC」）は、この度、リボミックの開発品RBM-007を含む複数のアプタマーについて、増殖性硝子体網膜症（PVR）に対する薬理作用を検証するための共同研究契約を締結しましたのでお知らせします。

PVRは多種の細胞が網膜表面、網膜内、硝子体腔内で増殖膜を形成し、当該増殖膜が収縮することによって網膜に皺襞形成や牽引性網膜剥離が生じ、失明に至る疾患で、網膜剥離の手術後や、眼球に強い衝撃が加わることで起きる非穿孔性眼外傷において生じる合併症であり、硝子体手術などの治療によっても重篤な視力障害や失明に至る事が多く、また現在のところ有効な予防法は存在しません。

核酸医薬の一種「アプタマー医薬」の開発を目的とする、創薬プラットフォーム系バイオベンチャーであるリボミックは網膜の炎症や異常な細胞の増殖抑制効果が期待できる複数のアプタマーを開発しています。また、日本大学医学部視覚科学系眼科学分野では網膜剥離をはじめ網膜疾患治療に高い実績があり、長岡泰司診療教授らのグループではPVRの動物モデルを保有しています。このたび両者は、それぞれの強みを活かしてアンメットメディカルニーズの存在するPVRに対する治療・予防薬の研究開発を共同で進めるため、本契約の締結に至りました。

本契約の締結に伴い、リボミックはNUBICに対して研究費を支払いますが、本件によるリボミックの業績への影響は軽微です。

以 上